

ミニ文化祭

会期：3月5日(土)～30日(水)

金目川をのぞいてみよう

私たちの身の回りには様々な環境があり、川はその代表的な環境であると思われます。川というのは、昔から生活に欠かすことのできない、水のある重要な場所とされてきました。

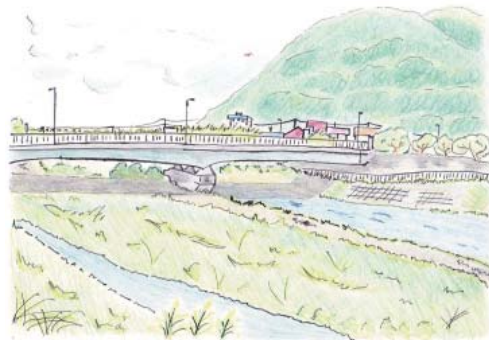
川には上流、中流、下流で流れや底質に違いがあり、その中でも下流域とは川の水が海に流れ込む場所のことです。上流から供給される岩石や砂泥が堆積し、中州や土手、淀みなどがあり、また、海水が混ざるところでは、汽水域もあります。川幅が広く、川の流れのある流水域と、流れのない止水域があることから、下流域には特に多様な環境が形成されているといえます。

そこで私たちは、身近な河川である金目川の下流域において、生物がどのように生活しているのかを9ヶ月間調査し、実際に見つけることのできた種(昆虫、魚類、植物)の紹介と生態をポスターにまとめました。春・夏・秋と季節ごとに見られる植物や昆虫、止水域や流水域、川底が泥の場所

東海大学教養学部人間環境学科 自然環境課程藤吉研究室

や石の場所など、環境によって住んでいる魚類が違いました。見つかった種の中には外来種もいました。今回の展示で身近な環境に少しでも興味を持ってもらえればと考えています。

展示には、ポスターの他に実際の標本、生物や風景のスケッチ、模型なども展示する予定です。また、ヨシやガマなどを用いた草花遊びや、クラフト作品の紹介をします。実際に金目川をのぞいてみてください。たくさんの発見ができると思います。(教養学部自然環境課程 入川聖司)



◀金目川の
スケッチ



モツゴ



オナガササキリ

2011年 3月5日(土)～30日(水)